

父／パードレ・パドローネ (1977)

PADRE PADRONE
FATHER AND MASTER
MY FATHER MY MASTER

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 イタリア
時間 113分
初公開日 1982/07
公開情報 フランス映画社

【解説】

地中海のイタリアーというイメージを覆す不毛の荒野に心打たれる、タヴィアーニ兄弟の“オイディプス”神話。原作をC・レッダの自伝に依った、文盲の羊飼いの若者がついには言語学者になる感動的な物語でもある。

南部サルジニア島。突然、父に小学校の教室から連れ出されたカビーノは、もう勉強は必要ない、これからは羊飼いになる修行だ、と人里離れた山小屋にこもる生活を強いられる。語らう相手もいず、もっぱら自然の中の音を友とした少年は長じて音に大変敏感になる。その彼に山道を行軍する軍楽隊の演奏はまさに青天のへきれき、至福の響き（この場面のゆったりと力強い描写には胸が躍った）。そして、20歳となり、父も有無の言えぬ徴兵で、彼は軍隊生活を体験、その中でも軍楽隊を志願するのだった。また、文字を読む必要に迫られた彼は、そこでの教育で、海綿が水を吸うように様々な知識を吸収。それだけでは飽き足らず、やがて大学にまで進学し、知性（言語と思考力）を獲得することでようやく、絶対的な父の呪縛から逃れることができたのだった……。

文明と読書を害毒と言いきる横暴な（しかし魅力的な）父に扮したアントヌッティが全くもって素晴らしい。教育についてやかましく言われる問題が起こる度、思い出される示唆的な映画だ。79年3月13日に「父」のタイトルでNHKより放映されたのが本邦初公開。

【クレジット】

監督	パオロ・タヴィアーニ	Paolo Taviani
	ヴィットリオ・タヴィアーニ	Vittorio Taviani
原作	カヴィノ・レッダ	
脚本	パオロ・タヴィアーニ	Paolo Taviani
	ヴィットリオ・タヴィアーニ	Vittorio Taviani
撮影	マリオ・マシーニ	Mario Masini
音楽	エジスト・マッキ	Egisto Macchi
出演	オメロ・アントヌッティ	Omero Antonutti
	サヴェリオ・マルコーニ	Saverio Marconi
	ナンニ・モレッティ	Nanni Moretti